

議会です こんにちは

留萌市議会だより

第132号

令和元年5月1日発行

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>

E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

主な内容

- P 8～P11 ・特集 4年間を振り返って
- P12～P14 ・第1回定例会一般質問項目
 - ・こんなことが決まりました
- P15 ・予算審査特別委員会からの報告

特集

4年間を振り返って

16人の議員で活動してきた留萌市議会の4年間を振り返り、主な活動をお知らせします。特に議会全体で取り組んだ特別委員会、各常任委員会、組合議会について報告いたします。この4年間に市民の皆さんからいただいた数々の意見を議会として、反映できるよう活動してきました。

【第6次総合計画策定に向けて】
第6次留萌市総合計画（2017～2026）、留萌市総合戦略（2015～2019）策定に向け「地方創生及び総合計画に関する特別委員会」を設置し、調査研究・審査を行いました。

【JR留萌線対策会議】
平成28年12月に留萌線の留萌―増毛間が廃止となり、その後留萌深川間も廃止の方向性が示されています。留萌線沿線の自治体の動向も含め、調査研究を進めています。

【留萌市かずの子条例制定】
留萌市議会は、加工生産量日本一を誇る留萌のかずの子の新たな消費拡大を促進するため「留萌市かずの子条例」を平成28年9月に制定しました。市内で開催の飲食イベントや「学校給

食」でかずの子PRをしていただいでいます。

【市民と議会の意見交換会】
市民に分かりやすく、開かれた議会づくりを目指し、市民の皆さんと意見交換会を開催。1回目は、54人の市民が参加しました。平成29年8月には、選挙権年齢が18歳に引き下げられ

議会基本条例検証から進めた 議会改革へ議員定数14人へ

たこともあり「中学・高校生との意見交換会」を開催。留萌の魅力や公共施設について意見を伺いました。

【議員定数を16人から14人へ】
議員定数に関する特別委員会を設置。アンケート調査や市民との意見交換会を経て、全委員による協議の結果、2人削減の14人となりました。

【インターネット中継開始】
平成30年第4回定例会の一般質問から、インターネット中継をスタートしました。議会におけるICT化を進めるための重点項目の一つ。一般質問であればYouTubeで視聴できます。また、留萌市議会ホームページの「ライブ中継及び録画配信はこちら」からもYouTubeで視聴することができます。



▲かずの子をPRするため市内開催の飲食イベントに参加した市議会議員

4年間を振り返って

第1常任委員会

【総務部】「地域振興部」「都市環境部」の所管事務を調査、研究してきました。

【船場公園事業】においては、市街地におけるイベント広場の確保や交流拠点として新たな観光ゾーンの創出のために、平成9年5月に都市計画決定および事業認可を受け、28年5月から供用が開始されました。

管理棟1階には「イベントホール」2

階には「展望休憩室」「屋上テラス」があり、多くの市民や観光客が集う公園として期待されています。

現在、「船場公園」は、留萌の玄関口として来訪者を迎え、まちなかへの誘導を図り、賑わいの創出につなげていくため、「道の駅」の登録に向けた協議を進めています。市は、「道の駅」整備検討プロジェクトチームを設置し、市民からの意見などを参考にしながら、「留萌市道の駅基本計画（素案）」



▲「道の駅」の登録に向けた協議が進む船場公園管理棟

期待が高まる「道の駅」

今後、これまで以上に員間において活発に議論を重ね、市政に対して多くの市民の意見を反映させていきます。

4年間を振り返って

第2常任委員会

【市民健康部】「教育委員会」「市立病院」の所管事務を調査、研究してきました。4年間に市民から寄せられた陳情・要望書の審査結果について報告します。

【留萌市立病院訪問診療継続願い】
医師の退職などによって体制維持が困難となり、平成27年11月末で在宅医療支援室を閉鎖。利用者から在宅医療継続の陳情が届き、審査の結果「在宅診療対象家族と家族への不安解消のための誠意ある対応をすること」などの要望をして「趣旨採択」としました。

【公衆浴場（銭湯）の再開と対策】
平成28年5月に市内の銭湯がなくなり、「銭湯の再開かこれに代わる対策について」の陳情が寄せられ、審査の結果「行政においては、浴場を取り巻く地域事情に鑑み、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律の趣旨に基づいて、政策として取り扱うことなどのさらなる努力を期待する」と付帯意見を提出し、「趣旨採択」とし

ました。

【留萌幼児療育通園センター新築】
平成28年11月に老朽化した留萌幼児療育通園センターの新築移転に関する要望書に対し「行政においては、建設場所について財政状況を勘案しながら、現状の教育財産の活用を中心に審査・検討を早急に対応すること」の付帯意見を提出し、「趣旨採択」としました。

笑顔が広がる通園センター

留萌市立病院外処方箋送信のためのFAXコーナー設置に関する陳情は、審査の結果「地域包括ケアシ



▲留萌幼児療育通園センター

4年間を振り返って

議会広報常任委員会

議会広報常任委員会は4年前に特別委員会から常任委員会として8人の委員でスタートしました。広報誌を作成する「広報誌班4人」、かわら版の作成・議会ホームページの管理担当の「かわら版班4人」の2班で構成され、班ごとに活動しながら、各班の報告や取り組みに対し、常任委員会で毎月議論を重ねてきました。

平成25年から、一般質問のネット中継がエフエム

一般質問のネット中継

中継すること

もえるのラジオ放送で開始。2年前から全国各地で同時に聞くことが可能なサイマル放送を導入し、ラジオ放送時には世界中のどこでもインターネットで一般質問を聞くことが可能になりました。

また、以前はかわら版の掲示場所として、るもいプラザや市立病院、市役所など8カ所の公共施設でしたが、18歳選挙権導入時に留萌高校にも掲示し、その後留萌駅バスターミナルなどの公共交通の場にも張り出し、より多くの市民に見てもらえるように掲示場所の



▲市内各所に掲示している「議会かわら版」

4年間を振り返って

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営に関すること、市民との意見交換会の開催、議会基本条例の検証を行いました。行政の施策を議論する常任委員会に対し、議会運営委員会は第3の委員会と言われ、議会を円滑に進めるための正副議長の諮問委員会です。

内容としては、市民との意見交換会を年1回開催しました。1回目は、テーマ

タブレット導入を検討

制度の導入など、市民の皆さんとの距離

報告と意見交換。2回目は、総合計画について約30団体の皆さんと意見交換を実施しました。

そして最も印象に残ったのが、「中学・高校生との意見交換会」であり、多くの貴重な意見をいただき、今後の議会活動に大いに参考になりました。また、中学・高校生の皆さんにとっても、議員との意見交換会は、日常では体験できない経験となり、議会に対する関心を持っていただけたと思っております。

議会基本条例の検証では、さまざま



▲今回初めて開催した「中学・高校生との意見交換会」

4年間を振り返って

消防組合議会

留萌消防組合議会は、留萌市と小平町で構成する一部事務組合議会であり、留萌市選出議員5人、小平町選出議員3人の計8人で構成されています。

平成27年からの4年間を振り返ると、27年には新しい消防庁舎建設が完了し、翌年には外構を含む工事が完了、併せて消防デジタル無線、消防緊急通信指令台の整備を行い、地域

地域防災力のさらなる向上・充実を目指して

もが痛感させられ、今まで

防災拠点である消防施設の更新整備を図ることができました。また、消防車両の更新整備についても、28年に小平消防署の水槽付消防ポンプ自動車、29年に留萌消防署の救助工作車、30年に留萌消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新し、留萌市・小平町の住民の皆さんにと

つて、安心・安全なまちづくりの一助となれたことは、私たち消防議会にとっても大変喜ばしいことでありました。

稚内地区消防事務組合、南宗谷消防組合への行政視察を行い、他

4年間を振り返って

南部衛生組合議会

留萌南部衛生組合は、(留萌市・増毛町・小平町)一般廃棄物、火葬場、し尿処理に関する共同処理を行っており、設置されている6施設「資源化施設」「最終処分施設」「生ごみ処理施設」「有害鳥獣焼却施設」「衛生センター」「やすらぎ聖苑」の運営や課題などについて協議しました。

【資源化施設(留萌市)】

プラスチック製容器、紙製容器、ビン缶などを収集していますが、平成30年11月のプラスチック分別調査で、留萌市が前回の適正率63・3%から48・9%に低下していることが分かりました。なお、30年度の資源物売却収入は、1126万1千円でした。

課題は分別適正化率

656頭を受けて

【最終処分施設(増毛町)】

可燃系埋立ごみ、不燃系埋立ごみの処分施設は、平成26～40年度(15年間)埋立期間で、31年度末で不燃系埋立区画が103・1%の埋立率となることから、「32年の早い時期に10日間ほどかけ、屋根移

【衛生センター(留萌市)】

衛生センターは、設置から40年が経過し、老朽化による修繕が多いため、現在施設の延命化を協議しています。



▲衛生センター(留萌市)

【生ごみ処理施設(小平町)】

生ごみ処理施設の菌体が、通路に山積みとなっているため、適切な対応をするようお願いしています。

【有害鳥獣焼却施設(小平町)】

3市町指定の有害鳥獣は、留萌市(エゾシカ、アライグマ)、増毛町(エゾシカ、カラス、アライグマ、ネズミ)、小平町(エゾシカ、アライグマ)。平成30年度は、留萌市、増毛町、小平町合わせて

平成31年第1回定例会

一般質問と答弁



とみず みほこ
戸水美保子
留萌公明党

〔質問〕災害時の避難について

災害発生時、「逃げる」行動を促す情報伝達について、市長の声により伝達するなど、日頃からの備えに関する方策を検討する考えはあるか。一時避難場所の広さや建物の大きさを考えて見直す考えはないか。避難所の自家発電設備はどのようになっているか。

要保護者の中には車椅子を使っている方がいるが、災害時、悪路になっても避難させることができる車椅子補助具などを備える考えはないか。避難所の備蓄品目に、液体ミルクを加える考えはないか。

〔答弁〕2022年を目前にコミュニティFM放送を活用した新たな自動起動ラジオの導入を検討している。導入時には市庁舎からの緊急割り込み放送も可能なので、市長の声での呼び掛けが確実な避難を促せるかどうかも含め、検討したい。避難場所については、平成31年度内に設置箇所を見直し、より確実に安全な避難体制の確立を図っていく。



さかもと しげる
坂本 茂
無党派

〔質問〕留萌の産業振興について

留萌の農業と農業経営持続のために農作業を委託できる体制の拡充は喫緊の課題。また、昨年7月の豪雨で農地の7割が水没する様な水害は、作物への被害にとどまらず生産者に大きなダメージを与えた。留萌川水系においては、市街地の洪水対策はほぼ完了しているものの、大和田遊水池から上流の水害対策は極めて不十分。河川敷内の雑木伐採をはじめ急ぐ必要がある。

留萌の漁業は、大学の協力を得て行政・漁業者・漁協が連携して研究開発に取り組み貴重な成果を上げていることは高く評価される。この連携体制のもとで「留萌の漁業の将来展望」を構築することはできるのか。

〔答弁〕農業者の高齢化とともに農作業の受託組織の新たな取り組みが始まっている。法人化やコントラクター組織など、市としてできる形で支援していきたい。留萌の漁業については、これまでの成果を生かす方向で取り組みが始まっているので、支援していきたい。

〔質問〕子どもと教育について
この4月からの保育所入所を申し込

今年度中に策定する市防災備蓄計画の中で、指定避難所の停電対応を事業者との優先調達の災害協定などの強化も含め、計画的に整理したい。

補助用具は使用が想定される要保護者宅、自主防災組織の備蓄資機材として設置する方が有効だと考える。ニーズを把握し、自宅設置時の支援制度を研究したい。



▲前輪が浮いて人力車になる車椅子用補助具

〔質問〕見守り活動のサポートについて
子どもたちの安心安全を守るため、市通学路安全推進協議会などが長年活動しているが、見守り効果を高める方策として、周囲の人が見ても、見守り

みながらも、入所できない子どもが45人発生している。保育は行政の責任、一日も早い解消を望む。子どもが自由に遊べる施設の建設、神居岩スキー場の再開。教職員の長時間労働解消のため、市・教育委員会ができることと根本的な解決策は。



▲再開が望まれる神居岩スキー場

〔答弁〕45人の待機児童の解消については、萌幼会と連携して保育士の確保に努めつつ、幼稚園での延長保育に願っている方向と、市として「小規模保育所開設」など解消に全力を挙げる。子どもたちが自由に遊べる施設については、旧施設の活用や道の駅構想との関係も含め研究したい。スキー場再開は関係者と話を進める。教職員の長時間労働解消に向け、市・教育委員会としては学習補助員を配置することと国や北海道に対して定員を増やすよう要請する。



むらやま
村山ゆかり
萌芽クラブ

〔質問〕地域医療を守るために

医師・看護師など獲得のための働きかけ、奨学金制度の導入、医療クリニック育成など多岐に渡る市立病院の経営安定化に向けた取り組みを評価している。留萌市立病院の医師をはじめ看護師、医療スタッフのよどみない努力に敬服している。しかし、患者数の減少に伴う医療収益減少による資金不足に対し、平成30年度に3億円の特別支援がされている。市からの操出金に頼っているのは根本的な解決にはならない。シンポジウムなどを開催し、地域医療圏全域の住民皆で考える方法はないのか。病院・行政・住民で組織する「地域医療を守る会」のような組織は結成できないかお聞きしたい。

〔答弁〕留萌市立病院は、重要な役割を担っており、守り続けなければならぬ。市民一人一人が、自分たちの財産として守るという意識を持つことが大事である。市民の理解を深めるために



うしろ ゆきこ
鵜城 雪子
萌政会

〔質問〕道の駅開業について

留萌市の財政調整基金が標準財政規模の20%以上の残高確保を目指すということだが、平成28年には20億以上あった残高が30年度末には約15億円、31年には約11億円となる見込みである。現在、市は貯金を切り崩す厳しい財政状況であり、病院の莫大な赤字問題や待機児童45人という今までに例のない問題などを多く抱える中で、道の駅開業をなぜ高規格道路開通の時期に合わせ、急ぐ必要があるのか、市民が納得できるように市長の明確なお考えをお聞きしたい。

〔答弁〕15億円以上の財政調整基金は必要だと思ふ。実質赤字比率を出さないことが大事であり、赤字を出すとか何とかしようとしてもできなくなる。

道の駅を優先するとか他のことを優先するとかよりは、求められていることに対し、できるかどうかの判断を財政的にすることが大事だと思ふ。高規格道路開通の流れの中に乗っていきたいという思いである。

〔質問〕三泊埠頭風車建設について
留萌港三泊埠頭に高さ150mの風車を2基建てるための協議が進められ

も市政懇談会や健康づくりの場などで情報の共有化を図っていきたい。また「ありがとうボックス」の設置など市民の動きがあれば支援したい。



▲小規模保育の実施に向けて準備する留萌市(イラストは、イメージ)

〔質問〕待機児童は、平成31年度当初見込みで、45人となっている。

待機児童解消に向け、引き続き保育士確保に努めるとともに3〜5歳児は幼稚園の協力をいただき、一時預かりを保護者に奨励したい。0〜2歳児は、小規模保育の実施を早急に取り組みたい。案の段階だが、利用者が少ない春日児童センターで、市内の児童センターや子育て支援センターにいる保育士をローテーションで配置するなどの体

ている。
三泊埠頭の石炭ヤードは道内でも類を見ないほど住宅地に近いが、長年石炭の粉塵問題で悩んできた三泊町や塩見町の住民の環境問題に対し、市は現状をどのように認識しているのかお聞きしたい。



▲風車建設の協議が進められている留萌港三泊埠頭

〔答弁〕現在、風車を設置予定で話を進めている。

環境に対する影響は、三泊特有の石炭粉塵で生活環境の影響が考えられる。今後、専門的な分野で事業予定者が自主的に調査する。その内容に応じて地域への説明を事業者に求めていきたい。また、水産業に影響はないと考えるが、環境アセスメントに出てくれば公表したい。

予算審査特別委員会からの報告 (一部抜粋)

【総務費】

Q 公共施設官民プロジェクトの活動状況は。

A 年3回、テーマとして建替、機能など基本構想に反映したい。

Q 昨年のブラックアウトを受けて防災備蓄・資機材の現状を伺う。

A 大容量リチウムバッテリー電気自動車から給電資機材を準備したい。

【民生費】

Q 社会問題となっている児童虐待に関する相談は寄せられているか。

A 平成29年度の相談件数108件の中には、児童虐待と思われる相談も存在する。

Q 保育園で待機児童が発生している。保育士確保のために市が積極的に取り組むべきでは。

A 保育の責務は市にあることから、保育園を運営する団体と取り組んでいきたい。

Q 寺子屋・るもいっこ事業をさまざまな人との関わりを持たせることによって、継続的に取り組む考えは。

A 子どもを対象とした市や民間の事業を一つにして成長させていけるよう取り組みたい。

【衛生費】

Q 健康の駅用地を約4千万円で取得し市所有になったが、縛りのなくなった事業内容は何か。

A 7月以降、歳入事業が可能となったので、新年度に収益を得られる事業を考えている。

【労働費】

Q 地元若者人材育成事業で、留萌高校が商品開発している「カズモちゃん焼き(仮称)」販売場所はどこか。

A 各種イベント開催時や道の駅での販売を考え「地域ビジネス創出事業(SBP)」の取り組みの一つとして進めたい。



▲昨年開催された「SBP交流フェア」

【農林水産業費】

Q 有害鳥獣駆除で、アライグマの出没が増え、市民も農作物被害に苦慮しているが、駆除方法は。

A アライグマの出没は激増し、30年度65頭を捕獲。体長も大きいので31年度は、大きな箱ワナを20台確保したい。

Q 新規漁業就業者支援事業は、予定される就業者はいるのか。

A 1人を予定している。

【商工費】

Q 西海岸集客力向上事業のオートキャンプフェスティバル再開について運営と実施時期を伺う。



▲再開が望まれる「オートキャンプフェスティバル」

A 各団体に集まっていたが、過去に中止に至った経緯などの検証も行い、協議を進めたい。

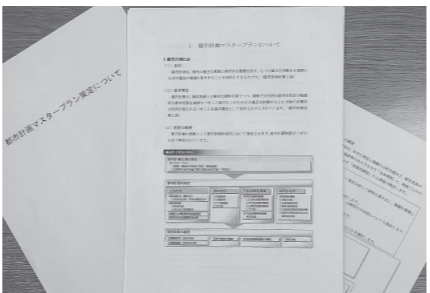
Q 黄金岬海浜公園のトイレ設備を解体するための予算が計上されている。

3月13日から15日まで予算審査特別委員会を開きました。

る。解体後の土地の再利用計画は。A 31年度についてはトイレを解体後、実施設計を行い次年度に供用開始できるよう進めていきたい。

【土木費】

Q 都市計画マスタープラン検証業務委託はどのように行い、市は結果をどのように生かしていくのか。



▲都市計画マスタープラン

A 新年度に業者を選定し、約1年間をかけて行った後、庁内で課題を検証しまちづくりに生かしたい。

Q 道路整備ストック事業の4路線9カ所の進捗率を伺う。

A 計画は平成28年度から31年度までなので次年度で完了する。

Q 三泊地区未竣工地測量のスケジュールは。

A 用地確定測量後に部分的な竣工の手続きを行う。部分的な竣工が終わると新たな土地が生じるため、手続きには1年間ほどかかるものと考えている。

【教育費】

Q アルペンスキー少年団も頑張っている。活動に関する予算を計上できないか。

A 関係団体と協議し、整備などに関する要望があれば応えたい。

Q 留萌中学校整備事業で学校側から要望はあったか。

A テニス部員の増加を受けてコート増設を要望されている。



おのとしお 小野 敏雄 萌芽クラブ

【質問】地元企業応援施策などについて
地元企業応援施策への取り組みとリフォーム助成制度、空き店舗助成制度の利用促進に向けての制限緩和や消費税対策を伺う。

【答弁】新たな設備投資への支援、住宅改修促進事業など現行制度の情報提供のほか、活用しやすい制度の創設を検討する。空き店舗活用助成事業は見直していく。消費税増税時にプレミアム商品券発行を実施する。

【質問】JR留萌線と道の駅について
JR留萌線路線見直しに関する対応とJR留萌線を存続とした場合、地元で6億円を負担することは可能か。また、道の駅基本計画に関する進捗よく状況、オープンまでのスケジュールについて伺う。

【答弁】昨年11月にアンケートを実施。早朝・夜間の利用が多く、廃止となれば通勤通学手段の確保が課題となると認識した。できるだけ早期に留萌本線沿線自治体会議を開催したい。
留萌・沼田間を存続する場合、約6億円必要だが、財政状況を見ると毎年6億円を出すのは難しい。道の駅整備実現に向けて市の道の駅整備検討プ

留萌市議会の一般質問は、YouTubeで!
留萌市議会ホームページの「ライブ中継及び録画配信はこちら」からYouTubeで視聴できます。
インターネット中継
ライブ中継及び録画配信はこちら(外部リンクページ)



▲市民の注目度が高いJR留萌線存続と道の駅構想

ロジエクトチームを設置した。道の駅に参画意向のある事業者や関係機関などを交えた意見交換会も開いており、3月中には道の駅基本計画素案を示し、6月に基本計画の策定、11月に道の駅登録申請を予定している。
現段階では、高規格幹線道路深川留萌自動車道の全線開通後となる2020年春のオープンを目指している。今年9月に指定管理者を公募する。

こんなことが決まりました 平成31年 第1回定例会 3月5日~15日

平成31年第1回定例会が11日間の会期で開催され、報告3件、議案27件、意見書案4件などを審議しました。

【報告】		
• 専決処分報告について(訴えの提起について)	ほか2件	了
【議案】		
• 平成30年度留萌市一般会計補正予算(第10号)		
• 平成31年度留萌市一般会計予算		
• 平成31年度留萌市国民健康保険事業特別会計予算		
• 平成31年度留萌市後期高齢者医療事業特別会計予算		
• 平成31年度留萌市介護保険事業特別会計予算		
• 平成31年度留萌市港湾事業特別会計予算		
• 平成31年度留萌市下水道事業特別会計予算		
• 平成31年度留萌市水道事業会計予算		
• 平成31年度留萌市病院事業会計予算		
• 留萌市議会政務活動費交付条例の一部を改正する条例制定について	ほか14件	原案可決
• 留萌市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について		同意
• 留萌市教育委員会教育長の任命について		同意
• 留萌市監査委員の選任について		同意
【意見書案】		
• 妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書	ほか2件	原案可決
• 農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書		

4年間、ご愛読いただきありがとうございました
【議会広報常任委員会】
委員長/鶴城雪子・副委員長/笠原昌史・土田悦也・米倉靖夫
・川口宏和・戸水美保子・村山ゆかり・坂本守正